

『渋川をよくする会』第3次行動計画 平成27年～31年 (5年間)

～仲良く・楽しく・豊かな渋川を次世代につないでいこう～

「渋川をよくする会」では、平成15年の発足以来、渋川住民が「住んでよかった」と思える、また若い人たちも「住みたくなる」地域づくりをめざして、活動に取り組んできました。
これまでの活動で、「住民活動」や「収穫祭」などにより地域内外の交流が進み、生産・加工・販売に取り組む「農事組合法人渋川」の設立や新たな活動拠点「渋川ふれあいの家」が設置されるなど、多くの成果を出してきました。
これらの活動をさらに発展させ、次世代につないでいくために、今後5年間の行事計画を作成しました。
渋川をよくする会では、この行動計画をもとに「子どもから高齢者まで参加した地域づくり活動」を実践していきます。

渋川をよくする会 7つの活動の柱

1. 地域みんなが和やかに話し合い助け合える活動をすすめていこう
2. 生活が楽しめる自然いっぱいの地域にしていこう
3. 住みやすく快適な環境づくりをすすめよう
4. 渋川の伝統や文化を伝えていく取組をしよう
5. 地域資源(ひと・もの)を活かして渋川のファンをつくらう
6. 渋川らしい農林業をつくっていこう
7. 渋川の後継者づくりに本気で取り組もう



(看板づくり)



(渋川収穫祭)

1 地域みんなが和やかに話し合い助け合える活動をすすめていこう

- 年に一度は、楽しみのある住民集会をもとう
- 「ふれあいの家」を話し合い・助け合いの場にしよう
- 「渋川だより」の発行を継続しよう
- みんなに渋川をよくする会への参加を呼びかけよう

2 生活が楽しめる自然いっぱいの地域にしていこう

- 荒廃田に花を植えよう
- 川の遊び場づくりに取り組もう
- いいぎり・つるあじさい・ささゆり・やまあじさい・紅どうだん など、渋川の自然を守っていこう
- 「渋川」の清流を大切にしよう
- 花や山野草いっぱいの美しい地域にしよう

3 住みやすく快適な環境づくりをすすめよう

- 生活道の清掃(雑木の伐採と草刈り)に参加しよう
- 地域の良さを実感できる手作りの看板をたてよう
- 生活に必要な道路の整備について話し合おう
- 交通手段の確保について知恵をしばろう
- 「ふれあいの家」を健康・福祉・生涯学習の拠点にしよう
- 渋川にあった防災対策を考えよう

4 渋川の伝統や文化を伝えていく取組をしよう

- 「むらの先生」を掘り起こそう
- 地域の技を伝承していこう(しめ縄づくり・竹かごづくり・炭焼き・郷土料理など)
- 「渋川の盆踊り」(さんさ)を伝承していこう
- 氏神様を大事にしよう
- 渋川の暮らしや文化、行事など記録に残そう



(しめ縄づくり)

5 地域資源(ひと・もの)を活かして渋川のファンをつくらう

- 「ふれあいの家」を交流拠点にしよう
- 御大師さまめぐりを復活させよう
- 目観音様の縁日を開催しよう
- 渋川サイクリングロードをつくらう
- みんなの知恵や工夫で渋川らしい交流メニューをつくらう
- しぶかわ収穫祭を継続しよう
- 渋川の地域資源(つりぼり・温泉・ふれあいの家・しぶかわ工房・長野山・農家レストラン等)の連携を考えよう
- 河川プールを復活させよう
- 渋川の自然を都市住民と共に守っていこう
- 空き家の有効活用を考えよう

6 渋川らしい農林業をつくっていこう

- 「農事組合法人渋川」で農業について話し合おう
- 渋川無人市の活性化に取り組もう(渋川の地域資源を活かしたものづくり)
- 女性や若い人へ農業機械の講習会を実施しよう
- 田畑を守り育てるシステムを充実させよう
- 米のブランド化にチャレンジしよう
- 森林資源を次世代に引き継ごう
- 渋川の特産品をつくらう(わさび・山菜・渋川茶・らっきょ・こんにゃく等)
- 年間を通じた農産物の生産・加工・販売に取り組もう

7 渋川の後継者づくりに本気で取り組もう

- 後継者家族と交流しよう
- 後継者と農地や家の問題について話し合おう
- 後継者の家族にむらづくり活動への応援をよびかけよう
- 後継者に農作業の技術を教えていこう
- 後継者と家族経営協定をむすぼう